

資料

目次

- 表 1 「情報の扱い方に関する事項」と「書くこと」との関連性
- 表 2 「書くこと」に活用する思考スキルの系統表
- 表 3 指導計画参考例（授業実践②）
- 図 1 第 4 学年授業実践②で抽出児童が書き表したシート
「伝える伝わるシート」授業実践①～④

表1 「情報の扱い方に関する事項」と「書くこと」との関連性の系統表

	〔知識及び技能〕 (2)情報の扱い方に関する指導事項 (ア 情報と情報との関係)	〔思考力・判断力・表現力等〕 「B 書くこと」の指導事項 (イ 構成の検討/ウ 考えの形成・記述)
第1・2学年	ア <u>共通、相違、事柄の順序</u> など情報と情報との関係について理解すること。	イ <u>自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を</u> 考えること。 ウ <u>語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫</u> すること。
第3・4学年	ア <u>考えとそれを支える理由や事例、全体と中心</u> など情報と情報との関係について理解すること。	イ <u>書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつ</u> くったり、 <u>段落相互の関係に注意したり</u> して、文章の構成を考えること。 ウ <u>自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫</u> すること。
第5・6学年	ア <u>原因と結果</u> など情報と情報との関係について理解すること。	イ <u>筋道の通った文章</u> となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 ウ <u>目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫</u> すること。 (指導事項ウに示されている簡単にと詳しく、事実と感想や意見といった情報と情報との関係も含まれると筆者は考える)

学年	〔知識及び技能〕 (2)情報の扱い方に関する指導事項 (イ 情報の整理)	〔思考力・判断力・表現力等〕 「B 書くこと」の指導事項 (ア 題材の設定・情報の収集・内容の検討/イ 構成の検討/ウ及びエ 考えの形成と記述)
第3・4学年	イ <u>比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方引用の仕方</u> や <u>出典の示し方、辞典や事典の使い方</u> を理解し使うこと。	ア <u>相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして伝えたいことを明確</u> にすること。 イ <u>書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつ</u> くったり、 <u>段落相互の関係に注意したり</u> して、文章の構成を考えること。 ウ <u>自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫</u> すること。
第5・6学年	イ <u>情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方</u> を理解し使うこと。	ア <u>目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確</u> にする。 イ <u>筋道の通った文章</u> となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 エ <u>引用したり図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫</u> すること。

注：上記系統表は、小学校学習指導要領解説国語編（平成29年3月）より抜粋した。

下線部は筆者による。

表2 「書くこと」に活用する思考スキルの系統表

思考スキル	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
並べる 順序立てる	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>語と語や文と文との続き方に注意して、内容のまとまりが分かるように、文章の順序を考えながら情報を並べる。</u> ・ 絵や写真と文章が合うように考えながら情報を並べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書く内容の中心を明確にし、段落相互の関係に注意して、文章の構成を考えながら情報を並べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筋道の通った文章になるように、文章全体の構成や展開を考えながら情報を並べる。
比べる 比較	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集めた情報を、どれを選択すれば伝えたいことを明確にできるかと考えながら、情報と情報とを比べる。 ・ どのように書き表せば分かりやすいかを考えながら、自分の情報と他者の情報とを比べる。 ・ どのように書き表し方が変容し、相手に伝わりやすくなったかを考えながら、推敲前の情報と推敲後の情報とを比べる。 		
分ける 分類 抽象化 具体化 類型化		<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>選択した情報を、自分の考えを示す文章と、それを支える理由や事例を示す文章とに考えながら分ける。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>選択した情報を、目的や意図に応じて簡単に書いた文章と詳しく書いた文章とに考えながら分ける。</u> ・ <u>選択した情報を、事実と感想、意見とに考えながら分ける。</u>
つなげる 整合の確認 構造化する 理由付ける		<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>自分の考えを示す文章と、それを支える理由や事例を示す文章とが、内容の整合性がとれているかを考えながらつなげる。</u> ・ <u>絵や写真とそれを説明する文章とのつながりを考える。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>目的や意図に応じて簡単に書いた文章と詳しく書いた文章とが、内容の整合性がとれているかを考えながらつなげる。</u> ・ <u>図表やグラフとそれを説明する文章との内容のつながりを考える。</u>

注：上記の系統表は、小学校学習指導要領解説国語編（平成29年3月）より「B 書くこと」の指導事項を基に筆者が作成した。下線部は「考えの形成」の指導事項の内容である。

表3 指導計画例（授業実践②）

単元名	第4学年 説明の仕方を工夫して、分かりやすく伝える文章を書こう 『クラブ活動リーフレット』を作ろう（全7時間計画）			
目標	書く内容の中心を明確にし、説明のしかたを工夫しながら読み手に分かりやすく伝える説明文を書くことができる。			
評価規準	知識・技能 (2)情報の扱い方に関する事項 ア	考えとそれを支える理由や事例、全体と中心などの情報と情報との関係について理解している。		
	思考・判断・表現 B書くこと (1)ウ	写真の説明やその具体例と、自分の主張（考え）との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。		
	主体的に学習に取り組む態度	情報の書き表し方や情報の扱い方について積極的に理解し、学習過程に沿ってよりよく書き表したことを次の学習に生かそうとしている。		
過程	時間	○学 習 活 動	・支 援 ◇評価〈方法・観点〉	
つかむ	1	○教科書のモデル文と出会い、単元の課題を把握し、単元全体の学習の見通しをもつ。	・単元の課題、単元全体の学習の流れを掲示し、常に確認できるようにする。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 単元の課題：説明のしかたを工夫して、3年生に分かりやすく伝わるクラブ活動リーフレットを作ろう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 学習課題：文章の組み立てと書き表し方のよさを確かめよう。 </div>			
		○文章の組み立て（構成）、写真と文章を対応させて書く効果、文末表現等、書き表し方のよさについて確認する。	・モデル文を視覚化、焦点化し、書き表し方のポイントを全体で共有化する。	【知識・技能】 ◇説明文の構成や内容、書き表し方のよさを理解している。 〈ノート・観察〉
追究する	1	○話題を集め、写真、写真の内容説明やその具体例、アピール文などをマッピングで書き表しながら、比較・選択し、書く内容を明確にする。	・なかなか書く内容が決まらない児童には、教科書モデル文を使ったマッピング例や友達のマッピングを紹介し、比較・選択の仕方について支援する。	【思考・判断・表現】 ◇取り上げたい話題（写真、説明、よさ）を挙げてそれぞれを比較し、選択して自分の考えを決めている。 〈ノートの記述〉
	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 検証：「伝える伝わるシート」を活用することによって、情報の表現方法や情報の扱い方を理解しながら、自分の考えを形成して書くことができたか。（見通し1） </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 学習課題：文章の組み立てと書き表し方を考えて、リーフレットの下書きを書こう。 </div>		
		○シートの使い方及び話型と思考スキルを確認する。 ○話型と思考スキルを確認しながら、情報と情報とを関係付けて整理し、自分の考えを形成して付箋に情報を書き出し、シートに付箋を貼る。	・シートに示された話型や思考スキルを再度丁寧に説明したり、モデル文と比較しながら、児童が自己内対話を行い考えを形成できるよう、机間支援を行っていく。 ・理由や事例を文章化できずに困っている児童には、談話していく中で出てきたことを、話型や思考スキルを確認しながら文章化させる。	【知識・技能】 ◇考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解している。 〈シート〉の記述 【思考・判断・表現】 ◇写真の説明やその具体例と、その主張（考え）との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 〈シート〉の記述
	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 検証：「伝える伝わるシート」を活用することによって、交流による気付きから推敲し、よりよく書くことができたか。（見通し2） </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 学習課題：シートを読み合って、よりよく書くために気付いたことを伝え合おう。 </div>		

	<p>○グループでの交流による共有から情報の書き表し方と情報の扱い方の視点でもってお互いの表現を比較・検討し、よりよく書くための気付きについて伝え合う。</p> <p>○伝え合った内容はお互いに付箋に書いて渡し、ノートに貼る。</p>	<p>・何をどのように伝え合うのかの視点がずれていないかを児童同士でモニターできていなければ、伝え合う視点に戻れるように助言する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>◇情報の書き表し方や情報の扱い方への視点で、よりよく書くための気付きを伝えていく。</p> <p>（交流時の観察） （ノートに貼られた付箋）</p>
1	<p>学習課題 自分の考えを相手に分かりやすく伝えるために、よりよく書こう。</p> <p>○前時に共有した気付きを確認しながら推敲し、付箋を書き加えたり並び替えたりしてよりよく書き表す。</p>	<p>・文章化できずに困っている児童には、談話していく中で出てきたことを、話型や思考スキルを確認しながら文章化させる。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>◇自分の考えを明確にし、書き表し方の工夫を考えて読み手に分かりやすいように推敲してよりよく書いている。</p> <p>（交流前後のシート記述比較）</p>
まとめ	<p>1 学習課題：学習を振り返り、自分の考えを相手に分かりやすく伝える方法を確認しよう。</p> <p>○各グループで再交流してお互いによりよくなった書き表し方を確認し合う。</p> <p>○学習したことを確認しながら、単元の課題を振り返る。</p>	<p>・話型や情報を扱う上で必要な思考スキルを確認しながら、今後も文章を組み立てていく上で必要な力であることを理解させる。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>◇情報の書き表し方や情報の扱い方について積極的に理解し、学習課題に沿って書き表したことを次の学習に生かそうとしている。</p> <p>（ノート・観察）</p>

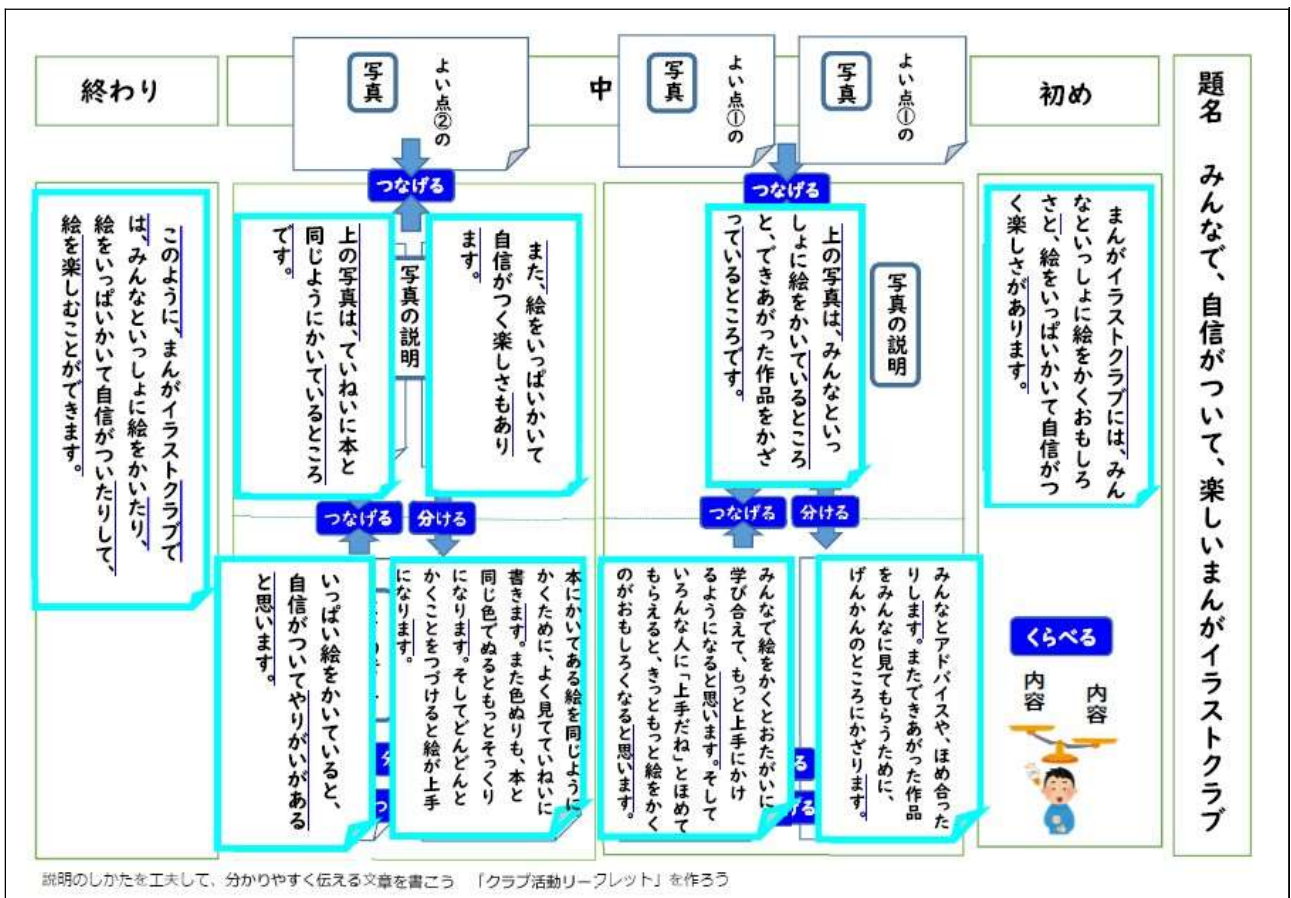


図1 第4学年授業実践②で抽出児童Aが書き表したシート
注：文字は著者がワープロソフトで清書。下線部はシートに明示されていた話型。

全体 (話題):

終わり

つなげる 中 つなげる つなげる

初め

このような理由から／このように、
 わたし／ぼくは、(もし)くならば、くのほう
 がいいと思います。／考えます(ました)。

三つ目は、くからです。

自分の考えた理由

つなげる 分ける

くわしく書いたこと

二つ目は、くからです。
 ／もう一つ理由があります。
 それは、くということです。

自分の考えた理由

つなげる 分ける

くわしく書いたこと

一つ目は、くからです。
 ／なぜかというと、
 くからです。

自分の考えた理由


つなげる 分ける

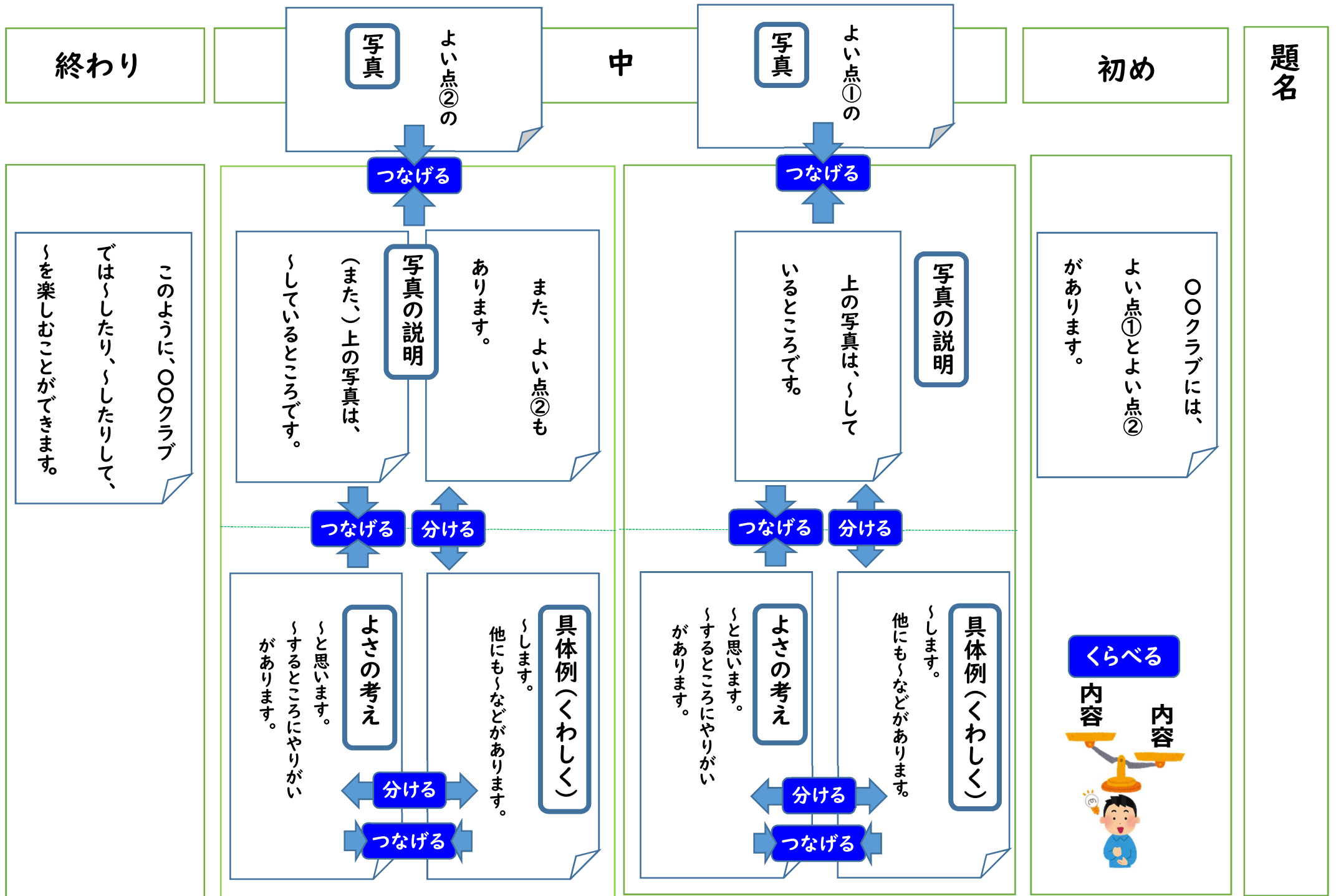
くわしく書いたこと

わたし／ぼくは、(もし)く
 ならば、くのほうがいいと
 思います。／考えます(ました)。

くらべる

内容 内容





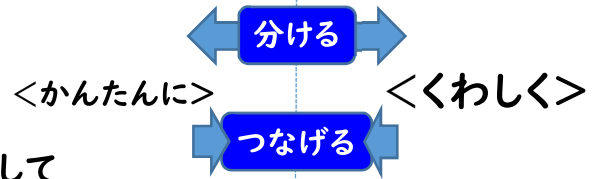
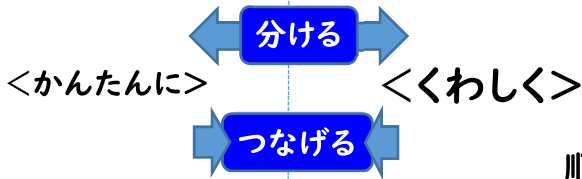
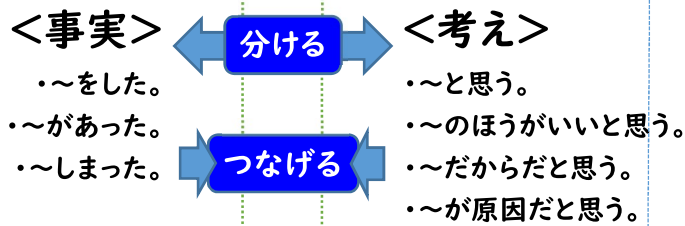
第4学年授業実践② 単元名「説明のしかたを工夫して、分かりやすく伝える文章を書こう」

活動計画



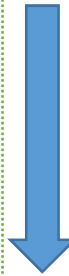
活動内容

活動して考えたこと



順番を整理して

ならべる



来年の5年生に伝えたいこと

題名	
----	--

提案内容	(_____) わたしたちがすべきこととして、 「 _____ 」ということについて、具体的な案を提案する。
------	---

1. 提案するきっかけ

-現状-

わたしたちの～では、～をしている。
わたしたちの～には、～がある。

分ける

<かんたんに>

つなげる

分ける

<<わしく>

つなげる

これは、～というものだ。
これは、～である。

-問題点-

しかし、～しているとはいえない。
／～という問題がある。／～が起きている。

分ける

<結果>

つなげる

分ける

<原因>

つなげる

～というのも原因の一つだろう。
～が原因かもしれない。それは、～だからだ。

-考え（意見）-

～していくため／のためには、
～が大切ではないだろうか。（と考える／思う）
<考えのもと（何のために？ 何が大切？）>

分ける

<考え>

つなげる

そのためには、～が／～することが
必要ではないかと考えた。

この考えにそって、次のことを提案する。

2. 提案

提案① と 提案②。そして提案③
(提案は1つでもよいし、3つまではOK。)
(短く分かりやすく。箇条書きでもOK。)
<かんたんに>

分ける

<<わしく具体的に①>

つなげる

～しては／～はどうだろうか。

<<わしく具体的に②>

また、～をしては／～はどうだろうか。

<<わしく具体的に③>


さらに、～をしては／～はどうだろうか。

-提案に対する考え-

～と気付いた。～と考えた。
(提案したことが実現すると、どんな効果があるのか、自分の考えをしめす！)

そこで、
「 _____ のために」
という点でできることとして、このことを提案する。

活動報告書と同じように、事実（現状と問題点）と考えを区別しているね。



くらべる

内容

内容

